

さわやか



生徒指導部だより
令和5年度 第3号
12月22日発行
札幌南陵高等学校生徒指導部

人生85年

今の日本人の平均寿命は約85才です。100年前から比べると人生50年から85年と変わり、人との出会いは、昔から比べものにならないほど多くなりました。まして今はネットによるSNSの普及により、もっともっと多くの人と巡り会う機会が増えるでしょう。

生涯で、何千人、何万人と数え切れない程の出会いが訪れると思いますが、一人の人間として成長し、自我を形成していく上で、それらの人々との出会いが大きな要因となります。特に、自分でも気づかなかった未知の自分を教えてくれる友人に出会うことがあれば、それは人生最大の幸福といっても過言ではないでしょう。

高校生活における3年間は友人を得るには最も良い期間です。あるネットでの高校生の生活実態等のアンケートによると、高校生活において大切なことは「友達付き合い」が第1位になっています。事実、生徒にとって友人と話をしたり、部活をしたり、一緒に何かをしている時のほうが、勉強している時よりも生き生きとしているように見えます。

しかし、4月からの君たちの交友関係を見ると、本当の友人としての付き合いをしているのかと疑問に思う場面が多々ありました。「友人の逸脱行為に勇気ある忠告のできる」そんな人間関係を南陵高校で築いて欲しいものです。(文責 田村)

闇バイトに注意！

目先の利益を手に入れるため、未成年者が「闇バイト」に安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまうことが大きな社会問題となっています。現在、社会的に「闇バイト」という用語が使用されていますが、これは単なるアルバイトなどではなく犯罪です。「闇バイト」の募集は、犯罪実行役の募集にほかならず、その実態は犯行グループが切り捨て要員の実行役を手広く募集するものです。君たちはこれに関わることでどのような危険が及ぶか知っていますか。

【事例1】犯行グループに密告され逮捕された

- ・ 特殊詐欺の「受け子」として被害者からだまし取った現金を持ち逃げしようとしたら犯行グループにばれてしまい、だまし取った現金を回収された上、密告され逮捕された。
- ・ 地元の先輩とキャッシュカードのすり替えを行い、一旦報酬を得たが、その後、犯行グループから呼び出され、理由が分からないままペナルティなどと称して、報酬を上回る金を巻き上げられた。さらに、犯行グループの一員が金を持ち逃げしようとしたため、密告され逮捕された。

【事例2】「詐欺加担者」として顔写真等の身分証明書を SNS に投稿された

- ・ 警察官がサイバーパトロール中、「詐欺犯罪者」とコメントの付いた顔写真や身分証明書の画像がツイートされているのを発見した（「闇バイト」に応募した後、犯行グループから離脱した者に対する制裁行為と思われる）

犯行グループは約束の報酬を元から支払うつもりはなく、未成年者を都合よく利用した後、簡単に「捨て駒」として切り捨てます。たった一度でも手を染めれば犯行グループからの脅し等により、何度でも使われ続け、最後には必ず警察に検挙されます。関わって得られるものは何もありません。

また、犯罪によって被害者やその家族に一生消えることのない深い傷を与えることとなり、他人の人生も台無しにするのです。(少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 警察庁資料参照)

嘘（うそ）が許されない理由

世界中の人は例外なく「嘘（うそ）をついてはいけない」と教えられて育ちます。「社会」で嘘が許されない理由は次のとおりです。

例えば、友人が自宅を訪れて言いました。「俺に強盗の容疑がかかって警察に追われているが、自分は絶対にやっていない。隠れるために家に泊めてくれないか」という友人を家に隠しました。その夜、訪問した警察官に友人の居場所を尋ねられた場合あなたはどう答えますか。警察官に「知らない」と嘘をつく人は、「無実の友人を警察から守った！」と警察への嘘を正義であると自らを肯定します。従って、嘘の良い悪いは自分の判断に委（ゆだね）られることとなります。しかし友人が逮捕された場合、あなたは警察に嘘をついてかくまったことで、友人の有罪・無罪にかかわらず犯人蔵匿罪（はんになんそうとくざい）として逮捕されます。社会は信用によって成立している以上、（店に品物が並んでいるのは人が盗まない前提）全体の幸福のために、悪事を隠す「嘘の存在」は社会・国家を崩壊させるものとして厳罰化されてきた歴史を持ちます。哲学者カントは、「個人の良い・悪いの判断は不確実なもので、ことの因果関係（この場合は逮捕）に影響しないからどんな場合も嘘をついてはいけない」と、言っています。

さらに「個人」にとって嘘は、人生を台無しにする可能性をはらんでいます。あなたはカバンに付けている大切なキャラクターをクラスメイトの前でA子に馬鹿にされたことに腹を立て、隠れてA子のキャラクターを盗みました。友人の間で噂になり、自分がバレないことを隠（かく）すため、「B子が盗んだ」と最初の嘘をつきました。B子の潔白が証明されると、自分に疑いが及ぶと不安になり、「C子が盗んだ」と重ねて嘘をつきました。「いつ？」と聞かれると嘘の日時を答えなければなりません。日付があわず嘘がバレそうになると更にを重ねました。友人に聞かれるたび、話を嘘で塗り固めなければならず、いつバレるか不安でびくびくした性格になっていきました。「あなたが盗ったところを見たよ」という言葉におびえ、誰からも聞かれていないのに心の中で嘘の言い訳を考え続ける時間が増えました。自分に自信が持てずみんな自分を疑っていると感じて、人を信用できなくなりました。自分を守るためについた嘘が、最後にあなたを苦しめる結果になります。

嘘は社会も個人の生き方も破壊する恐ろしい力を持っています。あなたは息を吐くように嘘をついていませんか？嘘をつく原因をつくらぬ正直な生き方を考えてみましょう。（文責 有元）



自転車通学可能となります

以前1、2年生の皆さんには「自転車通学に関わるアンケート」をとったと思いますが、令和6年4月より南陵高校開校以来、生徒の皆さんの自転車通学が可能となります。

詳しくは、3月頃に案内を出しますが、事前の「許可願いの提出」と「任意保険の加入」が必須となります。来年4月から自転車通学をしたいと考えている生徒は今のうちから保護者の方と相談してみてください。



